

(様式 1)

自 己 評 価 表

新居浜東高等学校

(4)

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）	カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
○個性と人権を尊重する誠実な人間性を育てます。 ○社会の変化に柔軟に対応し、地域の発展に寄与する生徒を育てます。 ○スポーツや健康に関する高度な専門的知識や技能を習得し、競技スポーツや生涯スポーツの発展に寄与する生徒を育てます。 ○他者に対する敬意と思いやりの心を持ち、夢の実現のために挑戦し続ける生徒を育てます。 ○国際的な視野を持ち、様々な分野でリーダーシップを発揮できる生徒を育てます。	○分かる授業、鍛える授業で基礎・基本の徹底、学力の向上を図ります。 ○幅広い知識と教養を身に付けられる授業や体験活動を行います。 ○芸術・スポーツ分野の優れた技術に触れ、感性を磨く活動を行います。 ○部活動を通して心と体を鍛え、個性や技術を磨きます。 ○地域との連携や協働を通して、愛郷心やリーダーシップを育みます。 ○自らが課題を設定し、課題解決能力、コミュニケーション力を伸ばす探究活動を行います。 ○学校設定科目「専攻体育」と部活動を連動させ、高度な知識・技能を向上させます。 ○大学・専門学校等との連携により、専門性の高いスポーツ科学や栄養学分野の授業を行います。 ○校外施設を利用した多様な体験学習を行い、幅広い知識・技能を向上させます。 ○小中学生や高齢者等の多世代とのスポーツ交流を行い、健康・スポーツ指導の実践力を養います。 ○自らが課題を設定し、課題解決能力、コミュニケーション力を伸ばす探究活動を行います。 ○地域のスポーツイベント等の運営協力によって地域貢献するとともに、企画・運営能力を養います。 ○きめ細かな進路指導で進路実現をサポートします。 ○特色ある学校行事で、感動と思い出づくりに努めます。 ○心を磨く生徒指導で、規範意識を育てます。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
シンガ ヨラ ン・ デュ ・ポ エリ	グラデュエーション・ポリシーの達成	グラデュエーション・ポリシーに沿って生徒が成長していると感じる教職員の割合 7 割以上	A	生徒が成長していると答えた教職員が 8 割を超えた。育成を目指す資質や能力に向けて学校全体で取り組んでいるといえる。	5つの観点があるが、観点によりその差があると思われるので、全ての観点を意識した教育活動に励みたい。
学 習 指 導	家庭学習の充実	家庭学習 1 日平均 3 時間以上を確保させる。 A : 80%以上、B : 60%以上、 C : 40%以上、D : 20%以上、 E : 20%未満	D	19クラス中 6 クラスのみ目標達成であった。60分未満の生徒が各学年 10%程度いることも心配される。	各学年主任、担任とも連携を取り、目標達成を目指す。
学 習 指 導	教科指導の充実	年間 2 回相互参観授業を行い、その成果を授業に反映させる。授業評価「教材の工夫・改善に努め、生徒の興味・関心を引き出している」90%以上を目指す。 A : 90%以上、B : 80%以上、 C : 70%以上、D : 60%以上、 E : 60%未満	B	今年度、質問内容を見直したため、「授業改善の取組を行い、分かりやすい授業を目指している」について評価する。肯定的な評価が 81.7%と 90%には届かなかったが、比較的多くの教員が授業改善等を行っている結果となった。	年 2 回の相互授業参観では、授業者と参観者だけでなく、全教員の授業改善につなげられるように、情報共有の仕組みを作りたい。
		生徒による授業評価を年 2 回行い、「分かりやすい授業を行っている」90%以上を目指す。 A : 90%以上、B : 80%以上、 C : 70%以上、D : 60%以上、 E : 60%未満	B	7 月と 12 月に実施した。教科により多少の差異はあるものの、肯定的な評価が多かった。	生徒の評価や意見を参考に、授業改善に取り組んでいきたい。
	読書活動の充実	読書冊数年平均 1 人 10 冊以上を目指す。 A : 10 冊以上、B : 7 冊以上、 C : 5 冊以上、D : 3 冊以上、 E : 3 冊未満	D	平均は 3.0 冊であった。1, 2 年生は、現在のところ多読賞（年間貸出 50 冊以上）候補者がおらず読書離れが顕著になっている。図書館については、本を借りるというよりも居場所としての役割が強くなっている。	図書館の貸し出し数や、年間読書数が急激に減ってきている。目標数値が目的化しないよう、読書習慣を身に付けさせていきたい。

※ 評価は 5 段階（A : 十分な成果があった B : かなりの成果があった C : 一応の成果があった D : あまり成果がなかった E : 成果がなかった）とする。

進路指導	進路指導の充実	進路満足度を100%へ近づけるよう進学・就職とも希望する進路実現を目指す。 A:97%、B:90%以上、 C:80%以上、D:70%以上、 E:70%未満	B	1月20日現在、第3学年261名中、189名の生徒が進路決定している。70人程度の生徒がこれから実施される国公立大学や私立大学の一般選抜に向けて、今も努力を続けている。	家庭学習期間となる2月以降も、生徒全員が満足いく進路決定を成し遂げられるよう、教員一丸となって生徒の個別指導に当たりたい。
生徒指導	規範意識の醸成	「いじめアンケート」を毎学期実施し、いじめの未然防止、早期の認知・対応など、きめ細かな取組を行う。	B	いじめアンケートを毎学期実施した。アンケート後は、問題の確認・対応に取り組み、未然防止と早期の解決を図った。いじめの認知件数は11件(9名)であった。	いじめアンケートを実施し、問題の早期発見、早期対応につなげた。いじめを認知した後の経過指導・他の機関との情報共有を確実にすることを今後も意識したい。
		交通安全指導を徹底し、交通事故・違反件数0を目指す。 A:0件、B:1~10件、 C:11~30件、D:31件~50件、 E:51件以上	D	自転車での事故・違反件数は33件と増えている。内訳は事故(19件)、違反(14件)であった。継続的に注意喚起をしているが、成果が出たとは言えない結果となった。	今年度、自転車マナー向上指定校として取り組み、警察署職員の講話、スタントマンによる交通事故再現、交通安全委員による交通マナー啓発のInstagram投稿を実施した。一過性のものにならないよう来年度も継続して行いたい。
健康安全指導	生活習慣の確立	年間出席率95%を目指す。 A:95%以上、B:90%以上、 C:85%以上、D:80%以上、 E:80%未満	A	出席率は97%を超えているが、早退や遅刻、欠課が多く、皆勤率は低下している。	生徒課とも協力しながら、遅刻者を減らせるよう取り組みたい。今年度途中から「5分前登校キャンペーン」を実施している。
	交通安全指導の充実	地元警察署とタイアップし、交通マナーアップクラブの活動を推進する。	C	今年度の東雲祭で、警察署と交通安全委員が連携して、通学路の危険箇所マップを作製して展示したり、交通安全啓発イベントチラシを作製して配布した。また、市内県立学校交通安全の日の反省事項を各学校に聞き取り、啓発ポスターを作製して各校に配布した。	コロナ前に実施していた、市内県立学校交通マナーアップクラブで、代表幹事会や交通サミットを復活することができなかったが、来年度呼び掛けて復活させたい。
	危機管理体制の構築	防災避難訓練を年2回以上実施し、学校における組織体制や訓練の見直しを図る。	B	年に3回実施した。12月は地震に起因する火災からの避難を想定し、生徒及び教職員にも事前に出火場所を知らせないようにした。放送機器が使えない状況で避難誘導を呼びかけた。	授業時以外の状況下で訓練を実施する。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。

特別支援教育	特別支援教育の充実	個々に応じた支援体制を整える。欠席状況を常に把握し、ケース会議等を通して教職員の共通理解を図り、個々の生徒に対応する。	B	教育相談日誌などにより、相談のあった生徒の状況を関係教員間で共有した。また、学校生活の中で気がかりな生徒について S C や S S W の協力により臨機応変に対応することができた。	引き続き教育相談記録を活用するなど、生徒情報の共有を図る。また、気がかりな生徒について適切な協力体制の構築を図る。
保護者・地域等との連携	開かれた学校づくり	年間を通じて、積極的に授業公開を行う。 A: 4 回以上、B: 3 回以上、 C: 2 回以上、D: 1 回以上、 E: 1 回未満	A	保護者、中学校・他高校教員、評議員対象の公開授業、中学生対象の体験授業を行った。	今年度と同様実施し、より多くの方に参観に来てもらえるようにしていきたい。
		<u>ボランティア活動や地域行事に積極的に参加し、地域との交流を図る。</u> <u>A: 200人以上、B: 150人以上、</u> <u>C: 100人以上、D: 50人以上、</u> <u>E: 50人未満</u>	A	子ども食堂などのイベントやミラクルスマイル新居浜のスタッフ、地域の清掃活動などのボランティアや吹奏楽部、ダンス部の地域行事への参加、のべ484人の生徒がボランティア活動等に参加した。	来年度は新居浜南高校とも連携してツガザクラの保全活動等にも取り組む予定である。ボランティア活動に意欲的に取り組む生徒が多く、今後も活動の場を広げていきたい。
	情報提供の充実	<u>SNSやホームページを充実させ、週4回以上の更新を行い、ニーズに合った情報を迅速に発信する。</u> <u>A: 4 回以上、B: 3 回以上、</u> <u>C: 2 回以上、D: 1 回以上、</u> <u>E: 1 回未満</u>	A	4月から週平均で6記事以上更新をしている。今年度からはInstagramも開始し、130回以上の投稿、1300人を超えるフォローをしてもらっている。	本校保護者生徒だけでなく、中学生が興味を持つ記事作りをし、入学希望者を増やしていきたい。また、記事が遅くなることがあったので改善したい。
教育環境	教育環境の整備	進路希望に応じた個別指導の充実と課外の有効活用を行う。	B	夏季課外について、体育祭の準備と日程が重複しないよう、従来の予定を変更した。	他の行事との兼ね合いを考え、メリハリをつけて学びに向かうことができる環境をこれからも整えていきたい。
		<u>自習室・進路室の利便性の充実や、ICT機器の有効活用を目指す。</u>	B	自習室は3年生の教棟にあるが、年々1、2年生の一部の生徒も活用している。今後、もっと利便性をあげて生徒が利用しやすいようにしていきたい。	自習室等の活用を更に進めるとともに、様々な場面でICT機器の活用を促していきたい。
業務改善	<u>ICT機器の活用や業務の精選、勤務時間外在校時間の削減</u>	<u>勤務時間外在校時間の削減を目指す。</u> <u>A: 65時間未満、B: 65～70時間、</u> <u>C: 70～75時間、D: 75～80時間、</u> <u>E: 80時間以上</u>	B	教職員の平均が65時間42分であった。昨年度に比べてかなりの削減がなされ、働き方改革が進んだ。	100時間を超える教職員が10人程度存在している。部活動の充実を図るためどうしても在校時間が長くなってしまうが、休めるときには休んでもらう体制を整えたい。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。